

2020年度 法科大学院

第2期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

Xは、覚せい剤取締法違反の罪で起訴され、拘置所に勾留されていたが、同拘置所内の居室において、同室の男性Vに対し、①折り畳み机を投げ付け、②その顔面を手けんで数回殴打するなどの暴行を加えてVに加療約3週間を要する左中指腱断裂及び左中指挫創の傷害を負わせた。①は、VがXに向けて同机を押し倒してきたので、Xがその反撃として行ったものである。②は、Vが同机に当たって押し倒され、反撃や抵抗が困難な状態になった後に、XがVに対して加えたものである。

この事例において、Xの罪責を論じなさい。解答者が支持する見解を、対立する理解も十分に踏まえつつ、論じなさい。